

インターネット接続の要所 「ルータの設定」

EchoLinkを開始するにあたって、関門と言われているルータ設定のポート開放、俗称“ポートの穴あけ”方法を紹介します。関門と言っても理解できればむしろ簡単な作業ではありません。ここでは、いくつか例をあげていますが、例にないモデムやルータ機種でもポート開放ができるように紹介します。本文中、特に断りがない限り画面はWindows 2000を使用しています。

ルータ機能のないモデム*4-1を採用しているYahoo!BBやフレッツ・ADSLなどにおいて、さらに使用しているOSがWindows XPの場合は、ソフトウェア、ファイアウォールなどの設定変更が必須です(インターネット・セキュリティソフトを利用している場合はOSに関係なくその設定変更を要す)。このような環境の方は「Windows XPのソフトウェア、ファイアウォールを設定する」の項から読み進めてください。

■ パソコンのIPアドレスを固定する

ルータ(ルータ内蔵モデムも含む)のポート開放に先立って、必ずパソコンのIPアドレスを固定化しておきます。初期設定のままでは、パソコンのIPアドレスはルータなどによって自動的にIPアドレスを割り当てられる“DHCP”というモードになっています。通常、このままだとEchoLinkを利用することはできません。

また、ルータなどによっては、DMZやPCデータベース機能など、簡易なポート開放機能が搭載されていますが、初心者は原則として使わないでください。なぜならばパソコンの台数が増えたり、LANカードを交換するなど環境が変わったときにも、ルータの設定変更が必要となる場合があるためです。

● IPアドレス固定化

まずルータのローカルIPアドレスを調べます。ルータの取扱説明書に、Webブラウザを使って、ルータの設定を行うための解説が必ず載っています。そのときルータのアドレスは、「http://192.168.x.x/」といったIPアドレスとして指示されているので、参考にしてください。

パソコンのIPアドレスの固定化は、次の図にしたがってください。

Windows 2000、およびWindows XPの場合→図4-1～図4-10

Windows 98、Windows Meの場合→図4-11～図4-22

まず、マイネットワークからネットワーク接続のプロパティを表示させます。その中から「TCP/IP」プロトコルをダブルクリックし、詳細設定を表示させパソコンのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

*4-1：ルータ機能のないモデムとは、パソコンのLANケーブルをそれに直接つないでインターネットをパソコン1台のみで利用している場合のことを示す。CATVインターネット接続サービスなども同様の場合がある。